

帝京平成大学 大学院

学位論文の要旨

氏 名 小串 興平

博士論文題目（外国語の場合には、日本語訳を付記すること。）

病院薬剤部門における離職防止対策に関する研究

要 旨

これまで、病院薬剤師を対象にした離職や離職理由に関する研究は、わが国ではほとんど行われていない。病院薬剤師の業務が多様化する中で、優秀な人材流出の防止と職務満足度の向上は、安全な医療の提供と経営的な効果の点で重要であり、このためには就労意識や離職理由に関する研究を通して職場環境を改善することが重要となる。

本研究は医療職における離職顕在要因に関する検討と、病院薬剤師に有効な離職防止対策の提案を目的とする。

1. 医療職の離職顕在要因

1-1 調査方法、結果

顕在リスク調査として病院からの離職歴がある病院薬剤師、医師、及び看護師を対象としたインターネット調査を実施した。調査項目は、基本属性（性別、年齢、役職など）、病院からの離職理由、離職回避に関する周囲のサポートの影響、離職前後の意識調査（職場満足度、心理的ストレス、勤務施設に受診を勧めるか、勤務施設に就職を勧めるか）とした。得られた回答のうち、離職経験者 549 名（病院薬剤師 157 名、医師 190 名、看護師 202 名）を解析対象とした。全体では離職理由として給与に対する不満や結婚子育てのためとする回答が上位であった。なお、年齢については、全体の平均年齢から 37 歳未満と 37 歳以上の 2 郡に分けて解析を行った。

1-2 病院薬剤師と医師、看護師での離職理由の比較と離職防止対策

離職理由について対応分析により職種間の類似を確認した。37 歳未満の男性病院薬剤師においては、給与が少ないことやキャリアアップに関して 37 歳未満の男性医師と類似が見られた。この理由として離職前後で役職の上昇が見られたことから、離職がキャリアアップによる給与の上昇を目的としていた可能性が考えられる。離職防止対策としては、医師の研究を基に検討することが有用であると考え。また、37 歳未満の女性病院薬剤師では、結婚・子育てに関して 37 歳未満の女性医師と類似が見られた。この理由として大学での修業年限が 6 年間であり、勤務開始年齢などが医師と類似していることが考えられ、女性医師の復職対策を基に検討することが有用であると考え

る。ただし、残業が多いことと病院の方針に合わないことは医師及び看護師と相違が見られたため、病院薬剤師独自の対策を検討する必要がある。

2. 病院薬剤師の離職潜在要因

2-1 調査方法、結果

潜在リスク調査として、神奈川県病院薬剤師会名簿に登録されている正会員から、無作為に抽出した 491 名の病院薬剤師を対象に郵送によるアンケート調査を行った。調査内容は基本属性（性別、年代、役職、離職歴など）、就労意識（働きやすさ、勤務継続意思、入職後の職場に対するイメージ変化、成長の実感、将来的に離職する可能性が生じた場合の理由）、及び職務満足度とした。対象者 491 名のうち 230 名から回答が得られ、回収率は 46.8%であった。潜在リスクでは、給与やキャリアアップが離職につながる不満要因として抽出された。

2-2 職務満足度

職務満足度は、病院薬剤師版職務満足度測定尺度(JOBSS-HP27)を用いた。JOBSS-HP27 はチーム医療、薬剤部門業務体制、上下関係、仕事に対する誇り、病院管理・経営者との関係、職務上の自由度の 6 因子 27 設問から構成されており、病院薬剤師の職務満足度を客観的に測定することができる。今回の結果から、離職に影響を与える職務満足度の因子は、看護師では上下関係を含む人間関係が強く影響していたが、病院薬剤師は、薬剤部門業務体制や自己能力の向上が強く影響することが分かった。

残業に対する対策では医師、看護師では業務や役割に応じた対策が検討されている。病院薬剤師についてはJOBSS-HP27 の薬剤部門業務体制と自己能力の向上に関する設問から独自の対策を検討する。業務体制からは技術支援による身体的・精神的サポートを通して直接の業務量を軽減することや、自己能力の向上からは研究や専門認定資格取得支援として業務を自己成長につなげるサポートを通して専門性を向上させることが満足度向上につながり離職防止に有用であると考ええる。

以上のことから、離職顕在要因には医療職で類似性と相違性が見られるものがあることが明らかとなり、離職潜在要因と職務満足度から病院薬剤師の対策を提案することができた。薬剤部門のマネジメントとして、具体的な離職対策は人材確保の点で非常に重要である。

本研究結果は、これまでなかった病院薬剤師の離職理由や職務満足度など就労状況に関する基礎資料となり、性別及び年代別の離職防止対策などに活用できる重要な情報である。今後も本研究を進め、病院薬剤師の離職防止や職務満足度向上を通して、高度な専門知識の習得や病棟業務の拡大による積極的な処方介入を実施し、医療の質向上に貢献したい。

（注）2000字程度でまとめること。